

2020/3/5

世界エンジニアリングデー記念シンポジウム

「本校の工学科の現状」

昭和第一学園高等学校

校長 森田 勉

●自己紹介 と ○学校紹介

●1980年 早稲田大学大学院理工学研究科修士
課程修了 理学修士

●1980年～2012年法政大学中学高等学校教諭
(2002年～2008年 同校校長)

●2014年～昭和第一学園高等学校校長

○1940年(昭和15年)に昭和第一工業学校として設立

○1974年(昭和49年)に普通科設置

○1989年(平成元年)に昭和第一工業高等学校から昭
和第一学園高等学校へ校名変更

本校工学科の教育理念は？

工業職業教育の道を進むのか？
それとも

進学校を目指すのか？

- 職業教育から進学優先へ
- 志望者との絡みで工学科と普通科のクラス数逆転（平成20年～）
- 高1：普通科12クラス、工学科3クラス

生徒もそうだが、、

教員のなり手もいなくなっている。

- 工業の教員免許を取ろうとしない。
- 工業教職課程がなくなっている。

本校工学科の現状と課題

- 理念と実態との乖離
- 社会の動向
- 受験生や保護者のニーズ
- 指導者の絶対的不足
- 財政的な厳しさ
- 工学系(理系)志向者の少なさ

現場の理科教員はどう見てる？

概念図

